

柴山屏山 しんざん 舊久留米藩士。文政五年一月筑後國生れ、明治十七年十月十一日歿（八三二一四）。講富典、典と修す。通稱文平。池尻葛尊の學び、真木和泉守、木村重任等と交はる。幕末藩論一定せず、一度の幽閉に遭ふ。慶應四年置監と命ぜられ、翌年徴士、次で宮谷縣權知事、明治四年知事に進む。この間利根川の治水に盡力、うち大阪上等裁判所判事。

著書に『皇統』系歌（明治十一年四月二十日屏山書屋藏版、柴山二郎・出雲路萬次郎發兌）。

